

# 重要

ノンアスベスト『不燃メラミン化粧壁材』

# パニートスリム

## 施工説明書

### 1. 安全上についてのご注意

ケガや事故を防止するために、『警告』、『注意』に区分してあります事項が下記に記してありますので、必ず読んでお守り下さいますようお願い申し上げます。

誤った取扱いや施工を行ったときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつくものを **△警告** の項目に、また状況によっては重大な結果に結びつく可能性のある事に関しては **△注意** の項目に記してあります。

### △警告

1. 施工に使用する接着剤には有機溶剤が含まれていますので、**十分な換気**を行なながら作業を行って下さい。溶剤によって身体に影響の出る恐れがあります。

### △注意

1. 運搬、作業時には滑り止めの手袋を着用するとともに、パネルの加工時には**保護マスクと保護メガネの着用**をして下さい。また室内等の換気の悪い場所では集塵機能のついた切断機を使用するか、換気を良くして作業を行って下さい。もし、切粉が皮膚についたり、目や鼻、口に入った場合には、速やかに水で十分洗い流して下さい。また異常を感じたら、**直ちに医師の手当を受けて下さい。**
2. 水平面に置いて**反りが 10 mm を超える製品は施工しないで下さい。** 施工後外観上の不具合や下地から浮いたり剥がれたりして施工不具合が発生する恐れがあります。
3. 切断加工を行ったパネル端部は施工後においても手を切る恐れがありますので必ず端部をサンドペーパー (# 180 ~ 320) 等で糸面取りを行って下さい。
4. 下地の施工方法や材料の仕様形式は建物の構造と関連しています。不適切な工法や材料で施工を行うと施工不良の原因となり事故を引き起こしますので、本書の指定された工法にて施工を行って下さい。  
※施工時には現場監督と相談の上で施工を行って下さい。
5. 施工後は必ず点検を行い、不具合箇所を見つけたら直ちに補修をして**再度点検**を行って下さい。

### 2. 取り扱い上のご注意

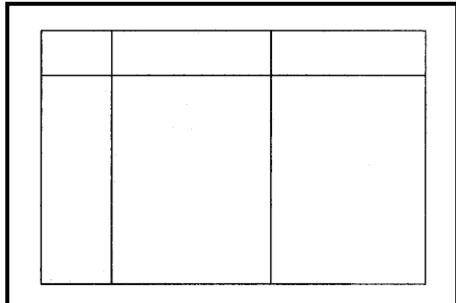
- (1) 施工の開始前に**製品の品番確認**及び**運送時破損等の有無確認**を行って下さい。  
※その後の責任は負いかねますのでご注意下さい。
  - (2) 積み降ろしや運搬の際には製品がたわみますので、**2名以上の運搬**にて**角の破損**に注意して下さい。
  - (3) パニートスリムは3mm厚と薄いので、お取り扱いには十分ご注意下さい。
  - (4) 地面やコンクリート面には直接置かず、厚板やパレットの上に**平積保管**して下さい。また製品の上を歩いたり腰掛けたり物を置かないように注意して下さい。
  - (5) **雨水に濡らしたり直射日光にさらしたりしないで、屋内の風通しの良い所に保管**して下さい。
  - (6) 壁等への立てかけ保管については、**反り発生の原因**となりますので厳禁です。
  - (7) ロープのじかがけと落下の恐れのある状態への放置は避けて下さい。
  - (8) 梱包ケースを開梱状態で放置すると反りの発生する原因となることがありますので、ケースから取り出したあとは出来るだけ早く施工して下さい。
  - (9) 不用になったパニートスリムは産業廃棄物として適切に処理して下さい。
- パニートスリムは壁面施工用です。
- 施工用下地については不燃性ボード下地 (厚さ 12mm 以上の石膏ボード、厚さ 5mm 以上のケイカル板及びフレキ板、セメント板等) 及びタイル壁面用です。

### 3. 施工手順

#### (1) 下地調整

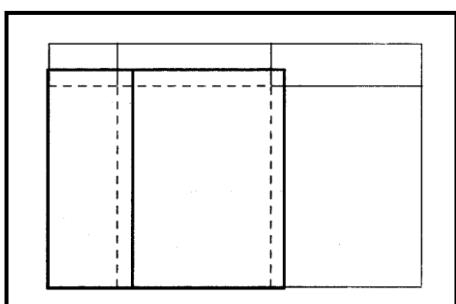
下地は石膏ボードが基本ですが、タイルの上へ施工する場合には、施工後古いタイルが剥がれる恐れがありますので、浮き・剥がれがないか木づち等で叩いて確認して下さい。

但し、**打っ放しのコンクリート面及びモルタル面等への直貼りは出来ません。**下地に凹凸がある場合は、施工用テープの重ね貼りするか、不燃ボードを捨て貼りする等して調整して下さい。ホコリ、油、水ぬれがありますと接着不良の恐れがありますから十分清掃して下さい。ぬれている時は乾くのを待ってから施工して下さい。耐水合板、ケイカル板、フレキ板へも施工できますが、その場合は専用シーラー剤（コニシ製KU-663）にて処理して下さい。



#### (2) 墨出し

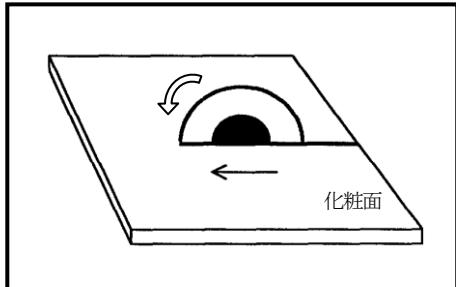
ボード下地の継ぎ目部分（点線）とパニートリムの継ぎ目部分（太線）が重なり合わないように割り付けて下さい。



#### (3) 切断1

切断は基本的に電動鋸、及びハンディーソーやパネルソー等で切断して下さい。**掻き上げ式の電動ノコを使用する場合はチップソー（超硬刃）の回転方向が、化粧面側から裏面側へ抜けるように切断して下さい。**切断や穴あけ等の加工時には製品が振動しないように固定し化粧面にキズがつかないように注意して下さい。

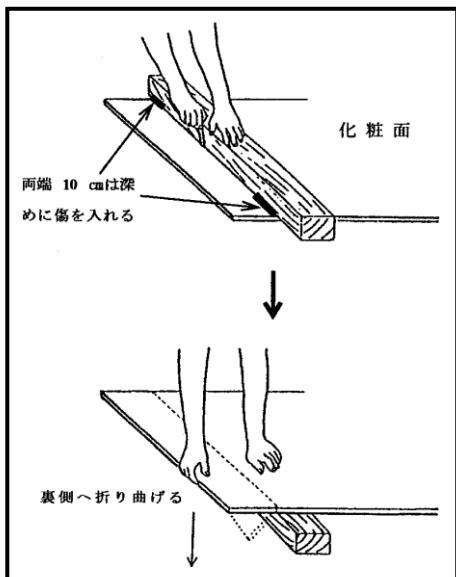
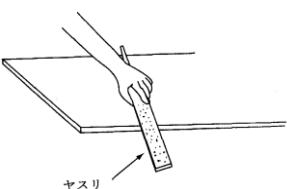
尚、切断面に凹凸がある部分は、鬼目ヤスリやサンドペーパー等で切断面を平らに仕上げ、さらに面取りを行って化粧面の角を取って下さい。



#### (4) 切断2

Pカッター又はケガキカッターでも切断可能です。化粧面から角材等を定規として当てて、2～3回ケガキ傷を付けて下さい。（※両端 10 cm位は特に深めに）その角材等を利用して、裏面側に折り曲げて切り離して下さい。

また切断面は凹凸していますので鬼目ヤスリやサンドペーパー等で平らに仕上げ、さらに面取りを行って化粧面の角をとって下さい。



## (5) 切り欠き・穴あけ

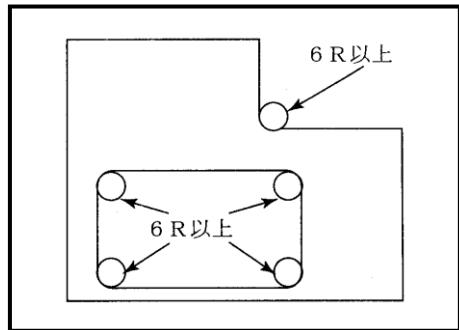
切り欠き加工にはスレート鋸又はハンディーソーで切断して下さい。

穴あけは電動ドリル又はホールソーをお使い下さい。加工時は作業台の上等、水平な台の上で捨て合板を敷き(ダンボール等の柔らかい物の上は不可)その上でパニートスリムを固定し、化粧面側から穴あけ作業を行って下さい。その時、捨て合板と製品の間に隙間があると製品裏面に穴バリが出ます。製品裏面に欠けや剥離等が発生しないように仕上げて下さい。

化粧面及び裏面が荒れないと施工後、亀裂が入る恐れがあります。

切り欠き接合点には必ず $\phi 12$ 以上のドリルで穴を開け、6R以上のRをとって下さい。6R未満の場合は施工後、亀裂が入る恐れがあります。

やむを得ず貼り付け加工後にスイッチボックス等へ穴あけ加工する場合は、スイッチボックスを囲むように両面テープ及び接着剤を下記(6)及び(7)の説明の如く予め下地に塗布して製品を貼り合せた後、右図のように $\phi 50$ 以上のホールソーで穴を2ヶ所開けてグラインダー又はジグソー等で連結して下さい。切断面は鬼目ヤスリかサンドペーパー等で切断面をさらに仕上げて下さい。切断面が荒れないと施工後、亀裂が入る恐れがあります。

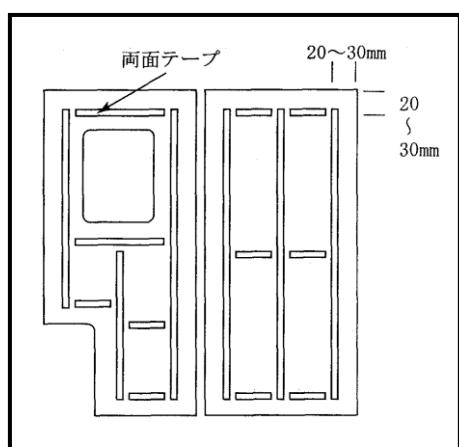
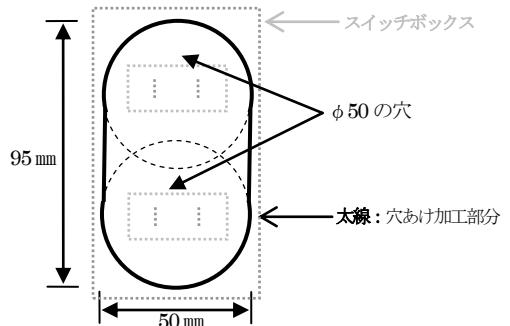


## (6) 両面テープ貼り

加工後、製品の裏面へ右図のように当社指定の両面テープ又は市販の1mm厚の化粧ボード施工用両面テープを外周部から20~30mmひかえた位置と中央部及び切り欠き分の外周に貼り付けて下さい。

2種類の施工セットを準備しております。

- TMセットA (パネル3枚分)  
(テープ3巻・接着剤3本)
- TMセットB (パネル2枚分)  
(テープ2巻・接着剤2本)



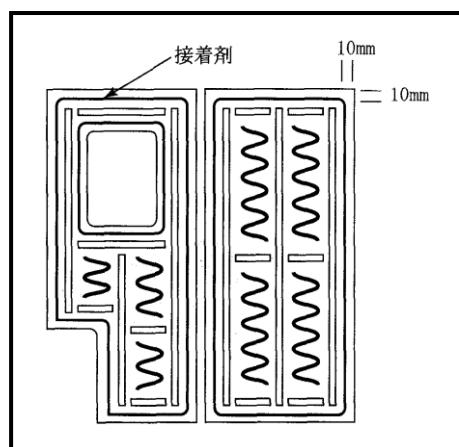
## (7) 接着剤塗布

次に当社指定ウレタン樹脂系の接着剤又は変性シリコン樹脂系の接着剤をコーキングガンで用いて、右図のように外周部から10mmひかえた位置と中央部に塗布して下さい。接着剤の塗りムラがあると、高湿時にフクレを生じることがありますので注意して下さい。

※接着剤標準使用量

: 3尺×8尺サイズ1枚あたり: 1本 (333ml)  
( $\times 0.5$ 本 (167ml) /  $m^2$ )

※両面テープは仮止めです。接着剤の糊山の高さは、両面テープ(厚さ1mm)より高く(高さ約4mm)塗布して下さい。

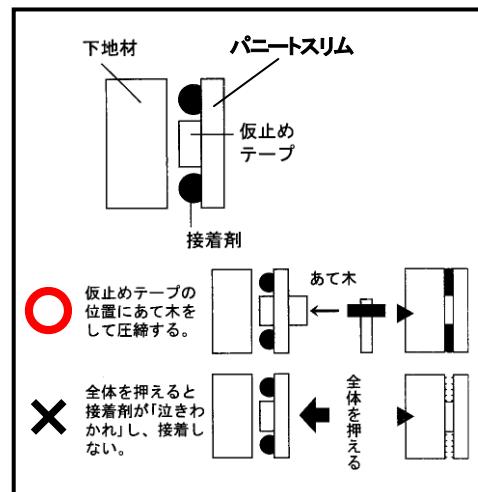


## (8) 貼り付け

接着剤塗布後、10分以内に所定の位置に貼り付けて下さい。貼り付け時には、接着剤の上を押さえず、必ず両面テープの貼り付けた位置にて押さえ込むよう加圧し、十分密着させて下さい。**接着剤が硬化する間(約20℃×24時間以上)養生を行って下さい。**必ず化粧ボード施工用の両面テープと接着剤を併用して固定して下さい。

**パニートリムは釘打ち出来ません。**

パニートリムをビス固定する場合は、**必ずパニートリムにバカ穴を空けてパニートリム自体にビス挿入時の荷重がかからない様にして下さい。**



## (9) 仕上

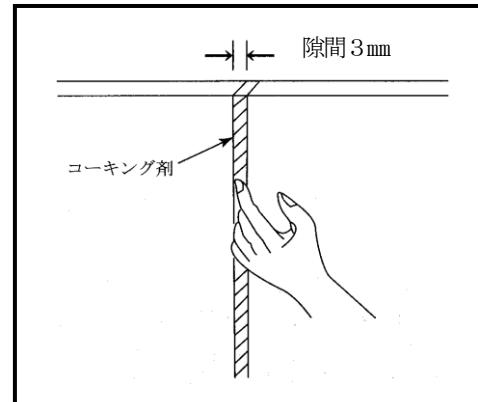
目地部の処理には、パニートリムの間に3mmの隙間を空けて、隙間部分に別売りのコーティング剤（防カビシリコンコーティング剤をお薦めします。）を入れるか、ジョイナーを使用して下さい。

**「突き付け施工」や「目透かし施工」はお止め下さい。**

コーティング剤としては

- ・コニシ株製「ボンドシリコンコート（防カビ）」
- ・信越化学工業株製「シーラント4588（防カビ）」

お薦めいたします。



## (10) 調理器具廻り処理

パニートリムと家庭用調理器具(4,600kcal以下)端部や機種によっては排熱口との距離は、150mm以上確保して下さい。150mm以上確保出来ない場合は、300mm以上の高さの防熱板をパニートリムの表面から10mm以上離して取り付けて下さい。また加熱された鍋類がパニートリム表面に直接触れないようにして下さい。

※上記条件を満たしても直接炎がパニートリム表面にあたらないようにご注意下さい。

※ガステーブルはキッチン側(パネルから遠い側)、及び前面へ寄せて使用して下さい。

ビルトインタイプ以外の場合は特にご注意下さい。

※本文注意事項は法令上の注意事項ではありません。コンロ廻りの設計に関しては**火災予防条例**に従って行って下さい。

**作業終了時、製品に梱包してあります「パニートリム取扱説明書」を施主様に必ずお渡し下さい。**

製造元 **日本デコラックス株式会社**

<http://www.decoluxe.jp/>

本社 〒480-0103 愛知県丹羽郡扶桑町大字柏森字前屋敷10 TEL(0587)93-2411㈹ FAX(0587)91-1070  
カスタマーセンター “ ” TEL(0587)91-3501㈹ FAX(0587)91-3505  
三重工場 〒510-8114 三重県三重郡川越町大字龜崎新田字下新田77番577 TEL(059)365-9119㈹ FAX(059)361-2024  
札幌営業所 〒060-0041 札幌市中央区大通東三丁目4番地1(オフィス大通ビル6F) TEL(011)242-7288㈹ FAX(011)242-7285  
東京営業所 〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目2番10号(SN岩本町ビル5F) TEL(03)5687-4721㈹ FAX(03)5820-7134  
名古屋営業所 〒480-0103 愛知県丹羽郡扶桑町大字柏森字前屋敷10 TEL(0587)91-3501㈹ FAX(0587)91-3506  
大阪営業所 〒531-0072 大阪市北区豊崎五丁目6番7号(シムラビル6F) TEL(06)6375-1671㈹ FAX(06)6377-3196  
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東一丁目11番15号(博多駅東口ビル3F) TEL(092)452-1150㈹ FAX(092)477-2271  
仙台サテライトオフィス 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町三丁目17番1号(サニーコートMS1号館) TEL(0120)19-3501㈹ FAX(022)349-9352